

春号
第333号

一粒の麦



社会福祉法人エデンの園
2024年4月20日

ひとつぶのむぎ

今年度も
よろしくお願ひします！



聖書のことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままです。
しかし、死ぬなら、豊かな実を結びます。(聖書 ヨハネの福音書12章24節)

～今年度の始まりはエデンの桜から！～

ゼネラルマネージャー 甲 斐 さち子



この季節、一歩外に出ると春の便りを乗せて、様々な花々が気持ちをリフレッシュしてくれ、通勤時間が楽しくあっという間に感じます。

そんな中、この3月、78歳の職員さんが退職されました。彼女は、施設の玄関やトイレ内に年中変わらずに、そっと花を飾ってくれていました。枯れたら又新しい花に

生け替え、そのセンスの良さについて“にんまり”する私でした。「家の庭に咲いた花ですから」と、気取らずとも凛とした生花は、愛情たっぷり育てられたからかとても長持ち！

そんな、何気なくサラッと出来る人生の先輩である彼女の退職に、これからは？と不安・・・目まぐるしい日々を送りながらも、四季折々の花の香りに季節を感じ、ホッと一息！癒されていたなあと感謝でいっぱいです。

さて、桜満開のエデンの園に今年度も9名の新入職員が仲間になっていただきました。感謝です！！

社会人1年生から、数々の社会人を経験された方など、様々ではありますが、気持ちを新たに、それぞれの配属先で力を発揮していただきたいと思っております。

4月は、中途採用者と共に新人研修を受けられ、4月下旬からいよいよ配属の事業所へ。選んでいただいた事に感謝しつつ、福祉（幸せ・豊かさ）を志した初心を忘れず、共に悩み・喜び、成長していきましょうね！！

春の陽気に花々を愛でながら、これからも止めることなく走り続けられるよう、満開の桜と共に、スタートです！！



(それぞれの事業所からのご挨拶)

エデンの園 第1福祉課

●エデンの園

お花見会を開催しました!

三月下旬のすっきりと晴れた金曜日に、花の街エリア（高齢者棟）では、桜を愛がらお食事会を行いました。残念ながら少し時期が早かったようで、園の近所の桜の木には六分～八分咲きの桜の木が見られたのですが、エデンの桜は少しのんびりしている様子で、3～4分咲きなので、蕾の方が多く見受けられました。それでもあたたかな春の日差しと、美味しそうなお花見弁当を前に、各利用者様はホクホク笑顔でお花見を楽しまれている様子でした。来年はのんびり過ぎず、早過ぎず咲いてくれるよう皆でお願いしたいと思います。各利用者様も各々エリアごとに日程を組んで、お花見を楽しまれる予定です。

内田 純一



●エデンホーム三名

今年度も宜しく申し上げます☆

さくらの似合う季節となりました。ホームみらいでは、今回利用者の方との会話にて、ふと「花見がしたい。またBBQがしたいなあ」と言った声を汲み取った上で、今年度も頑張ろうという思いも込めて、お花見BBQを実施しました。当日はあいにくの雨でしたが、利用者の皆さん久しぶりのBBQということもあり、とても楽しんでいました。希望通りに沿った支援の提供ができ、利用者の方も満足されたのではないかと思います。今回はホームみらいを取り上げましたが、みらいとのぞみ両ホームとも変わりなく、エデンホーム三名として今後も毎月の自治会を大切にしながら利用者の希望に寄り添った支援が行えるように頑張っていきたいと思います。

世話人兼生活支援員 保利 翼

●びえんと指定居宅介護支援事業所

ケアマネ業務 どんなところでやりがいを感じますか？

一言で表すと「利用者様とその家族が、介護が必要になる前の暮らしに近づけるように日常生活が送れるようになること」ことを考えています。

利用者様が置かれている課題は多種多様です。その課題に対してどのような支援を行い、安心した生活を送ることができののかを考え解決していくかを常に考えます。

実際に支援がはじまった場合でも失敗することもあり、何度も微調整を重ねていく地道な作業でもありますが、いつも思うことは「この支援内容は適切なのか？」と自問自答することです。

何が正解なのかは分からないことが多いのですが、利用者様からの感謝の言葉をいただいたりすると、この支援内容で良かったんだと実感することもあります。

当たり前の日常とは言いますが、その実現に近づけるための一助に私たち介護支援専門員が寄り添えれば良いなと考えています。

管理者 長友 茂



エデンの園 第2福祉課

●就労継続支援

B型事業所つむぎ



毎日作業を頑張っています！

つむぎでは、昨年より高岡町の公園のトイレ清掃作業を行っています。屋外でのトイレ清掃なので汚れも目立ちますが、清掃する利用者様は丁寧に作業に取り組んでいます。また、2月中旬より日向夏の収穫作業を行っており、収穫された日向夏の袋取りや剪定ハサミを使っての枝切り作業を行っています。寒い中での屋外作業ではありますが、作業に行かれる利用者様は、黙々と作業に取り組んで頑張っています。

室内作業では、リサイクル作業の拡大を行いました。空き缶回収からゴミと空き缶の選別作業を行い、空き缶の洗浄、プルタブ取りの作業をほぼ毎日行っています。リサイクル作業は、利用者様も意欲的に取り組んでおられ、毎日リサイクル作業があるのか、空き缶どのくらいあるのか心配される程になりました。

今後も利用者様と一緒に作業に取り組み、頑張っていきたいと思えます。

管理者 渡辺孝久



●エデンホーム森永(青い鳥・ほのか)

毎月大切にしている自治会

エデンホーム森永では、様々な行事を行い、利用者の方々に楽しんで頂く様に心掛けて取り組ませて頂いています。その為にグループホームでは毎月の第1日曜日に自治会を開催し、利用者のご要望を聞き行事等で反映しています。

ほのかでは綾で開催されていた雛山まつりに参加され、ひな人形が並べたある会場で鑑賞を実際することで、そのお祭りの雰囲気を楽しめました。また、青い鳥の方では自治会で料理をしたいと言われた利用者のニーズに応え、ホーム内で調理実習を実施しています。皆さんエプロンを着て野菜を切ったりお肉に味つけを行い皆さんできる事を利用者個人に合わせ調理を楽しまれていました。このように、今後も自治会の機会を大切に、利用者のニーズに合わせた行事等を行いながら、楽しく過ごして頂けるような雰囲気作りを行っていきたく思います。

世話人兼生活支援員 末原福徳

●放課後等デイサービス 麦わらぼうし

お別れ遠足

3月26日に川南町にある、ルピナスパークへ麦わらぼうし遠足を行いました。道中ではしりとりやクイズを行い、遠足への楽しみに繋がっていました。

公園はとても広く、遊具も豊富にあり子ども達は汗を流し、思い切り遊びを楽しんでいました。自分達で遊びのルールを決めたりする姿を見ると成長をととても感じました。今年度麦わらぼうしを卒業する子どもいますが、4月になれば新たに利用が始まる児童もいます。また新体制で今年度、児童と一緒に職員も成長していきたいと感じます。今年度も麦わらぼうしを宜しくお願い致します。

児童指導員 星崎悠成





エデンの園 第3福祉課

●生活介護事業所 あゆむ 農園芸活動本格始動

西都市に開所して早半年。自然豊かな環境の中で、1月より農園芸活動も本格始動しました。まずは事業所入口にある花壇と敷地内にある畑の再生から取り掛かり、活動中利用者さんたちは草抜きや石拾いに取り組んで頂きました。とても地道な作業でしたが、利用者さん・職員一緒になって和気あいあいとしながら寒空の中楽しく取り組みました。ようやく3月に入り、花壇も完成し、畑もジャガイモ・ネギ・トマトを植える事が出来、収穫が楽しみです。今後も四季折々の作物や花の栽培を利用者さんとともに行っていきたいと思います。

管理者 東屋 理香

エデンの園 第4福祉課

●就労継続支援B型事業所結(むすび) ●相談支援事業所 るるテラス

結(むすび)は、昨年9月から新富町に開設した就労継続支援B型事業所です。

主に、高齢者の福祉施設等に出かけ、清掃作業を行っています。現在、利用者さんは立ち上げの頃から人数が2倍になっており、皆さん一生懸命取り組まれ、毎月の工賃支給日には嬉しそうにされる様子が見られています。新しく入られた方も清掃がうまくできるようになってきており、以前からいる利用者さんが、新しく入ってこられた利用者さんに色々と優しく教えるような場面を見ることもあります。また、昨年度はあゆむと合同でバーベキューを行い、楽しい時間を過ごすことができました。今年度も皆さんが楽しめる行事を企画できればと考えています。

新しい作業場所も増えており、利用者さんは今までの経験を活かして作業をされています。今年度も皆で協力しながら、一人一人が成長できるような場所にしていきたいと思います。

結：渡部 強 士



好きな事、やりたいこと

春爛漫。西都原ではこのはなマラソンが開催され、満開の桜と菜の花を楽しみながら、レジャーシートを敷いて家族や友人と会話がはずんでいる姿、花まつりでにぎわう毎年恒例の光景が少しずつですが戻ってきています。

さて、私は先日返信された自分のストレスチェックを見て用紙のアドバイスの欄に「気分転換をしましょう」という一文の記載がとても気になりました。皆様の趣味や推し、気分転換は何でしょうか。私の気分転換は季節で変わる自然の風景を見ながらドライブに出かけることです。

相談業務での面談を行う際には「これからやってみたいこと、好きな事、気分が落ち込んだ時の気分転換は何ですか」と、利用者様、相談者にお伺いします。

私たち日々の仕事は、利用者様やご家族、相談者の望む生活の実現を手助けし、情報を提供、制度を利用して支援や援助のサービスの利用、計画を立てますが、その計画の中にはご本人の好きな事ややってみたいことも計画の中におりこみます。そして、それが実際にできているかモニタリングを行います。見守りを行い気持ちが動くまで待ち、見守ることもあります。面談の中では話をじっくり傾聴し、気分転換や好きなこと、息抜き、時には立ち止まり、振り返りメンタルを整えることを促すこともあります。ストレスへの耐性や物事の捉え方は人それぞれで感じ方が違うと思いますが、気持ちをしっかり受け止め気持ちの切り替えができるように、少しでも前向きになれるような声掛けをしていきたいです。

今現在の私は、一番やりたかった相談の仕事に従事することができ充実しています。利用者様や相談者の望む自立した生活に向け、微力ではありますが、お手伝いしていきたいと思えます。



土曜学校メッセージ

金桓基牧師（宮崎めぐみ教会）、印慶子牧師（宮崎柳丸キリスト教会）、
荒平大輔牧師・海老原直宏牧師（宮崎北聖書キリスト教会）、
山口英希牧師（宮崎清水教会） 浅野謙牧師（きりしまキリスト教会）

Facebook・HPのご案内

社会福祉法人エデンの園では、季刊誌『一粒の麦』だけでなく、FacebookやHPも開設しております。利用者さんの日常やイベントなどが随時配信されていますので、ぜひご覧ください。



寄贈品・寄附金ありがとうございます。(2月~4月)

平賀大貴様、コスモ設計高島様、宮王丸郵便局様、押川オートサービス様、JA宮崎燃料課様、橋本様、宮崎銀行様、
釘松喜代次様、田中秀典様、出水裕人様、吉田喜代志様



桜の花の便りが聞かれる頃になりましたが、エデンの園でも新しい年度を迎え、各事業所とも一生懸命業務に励んでいます。昨年度は新しい事業所の開所もありながら、大きな自然災害等の影響もなく、年度を終えることが出来ました。また、昨年度より新型コロナウイルスの方も第5類感染症として位置づけられ、利用者及び職員における行動規制も緩和され、少しずつ自由な環境にも戻ってきている現状です。色々なことを乗り越えながらようやく、これまでのような自由な日々を送れる環境へと戻ってきていますので、今年度も利用者様の生活の質の向上、安心と安全、楽しみと生きがいを見つけ、支えながら支援の方をさせていただきたいと思えます。今年度も社会福祉法人エデンの園を宜しくお願い致します。 エデンホーム三名 保利 翼